

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #5 Top 10 Japanese Authors: Yasunari Kawabata

CONTENTS

- 2 Kanji
- 3 Kana
- 5 Romanization
- 6 English
- 7 Vocabulary
- 8 Sample Sentences
- 9 Grammar

5

KANJI

1. 川端康成
2. 日本人で初めてノーベル文学賞に輝いたのが、川端康成です。
3. 彼の文章の特色とは「美しい」という点。使われることばと音読したときの響きと音、他の作家とは一線を画していると高く評価されています。
4. さらに素晴らしいのは、近現代の作家は数え切れないほどたくさんいますが、その中でも「名作」と呼ばれる小説をいくつも残していることです。
5. これらの理由から、川端は日本文学の頂点に立つ作家の一人と位置づけられています。
6. そんな文学的才能に恵まれた彼ですが、たった2歳で父を、翌年は母を、7歳の頃に祖母、その三年後に姉を、遂には15歳で祖父と死に別れ、とても淋しい家庭環境の中で育ちました。この境遇は、彼の作品に多大な影響を及ぼします。
7. 代表作『伊豆の踊子』は80年以上前に執筆された短編小説ですが、書籍で楽しむのはもちろん、六回も役者を変えて映画化されたほど人気のある作品。その主人公の青年は「孤児（川端と同じですね）」という設定で、日本では有名な観光地である伊豆を旅します。道中で出会った旅芸人の一座、とりわけ可憐な踊子の少女との温かい心の交流を通じて、孤独が癒されるという筋書き。
8. 川端が19歳の折に、実際に伊豆で体験したことに着想を得た本作から、彼の小説を読み進める人も多いです。
9. 次々と作品を発表する傍らで若い作家への支援も精力的に行ない、後に紹介する三島由紀夫をデビューさせたのも川端です。
10. そんな彼ですが、創作力の衰えや健康への不安などからガス自殺を遂げ、多くのファンに惜しまれました。

CONT'D OVER

11. 1899年6月 大阪府に生まれる
12. 1972年4月 享年72歳
13. 代表作 『伊豆の踊子』
14. 『雪国』
15. 『古都』

KANA

1. かわばた やすなり
2. にほんじんではじめてノーベルぶんがくしょうに かがやいたのが、かわばたやすなりです。
3. かれのぶんしょうのとくしょくとは「うつくしい」というてん。つかわれることばと いい、おんどくしたときのひびきと いい、ほかのさっかとはいっせんをかくしている とたかくひょうかされています。
4. さらにすばらしいのは、きんげんだいのさっかはかぞえきれないほどたくさんいますが、そのなかでも「めいさく」とよばれるしょうせつをいくつものこしていることです。
5. これらのりゆうから、かわばたは にほんぶんがくの ちょうてんに たつ さっかのひとり といちづけられています。

CONT'D OVER

6. そんなぶんがくてきさいのうにめぐまれたかれですが、たった2さいでちちを、よくねんはははを、7さいのころにそば、そのさんねんごにあねを、ついには15さいでそふとしにわかれ、とてもさびしいかていかんきょうのなかでそだちました。このきょうぐうは、かれのさくひんにただいなえいきょうをおよぼします。
7. だいひょうさく『いずのおどりこ』は80ねんいじょうまえにしっぴつされたたんぺんしょうせつですが、しょせきでたのしむのはもちろん、ろっかいもやくしゃをかえてえいがかされたほどにんきのあるさくひん。そのしゅじんこうのせいねんは「こじ（かわばたとおなじですね）」というせっていで、にほんではゆうめいなかんこうちであるいずをたびします。どうちゅうでであったたびげいにんのいちざ、とりわけかれんなおどりこのしょうじょとのあたたかいころのこうりゅうをつうじて、こどくがいやされるというすじがき。
8. かわばたが19さいのおりに、じっさいにいずでたいけんしたことにちやくそうをえたほんさくから、かれのしょうせつをよみすすめるひともおおいです。
9. つぎつぎとさくひんをはっぴょうするかたわらでわかいさっかへのしえんもせいりよくてきにおこない、あとにしょうかいするみしまゆきおをデビューさせたのもかわばたです。
10. そんなかれですが、そうさくりよくのおとろえやけんこうへのふあんなどからガスじさつをとげ、おおくのファンにおしまれました。
11. 1899ねん6がつ おおさかふにうまれる
12. 1972ねん4がつ きょうねん72さい
13. だいひょうさく 『いずのおどりこ』
14. 『ゆきぐに』

CONT'D OVER

ROMANIZATION

1. Kawabata Yasunari
2. Nihonjin de hajimete Nōberu bungakushō ni kagayaita no ga, Kawabata Yasunari desu.
3. Kare no bunshō no tokushoku to wa "utsukushii" to iu ten. Tsukawareru kotoba to ii, ondoku shita toki no hibiki to ii, hoka no sakka to wa issen o kakushite iru to takaku hyōka sarete imasu.
4. Sara ni subarashii no wa, kingendai no sakka wa kazoekirenai hodo takusan imasu ga, sono naka demo "meisaku" to yobareru shōsetsu o ikutsumo nokoshite iru koto desu.
5. Korera no riyū kara, Kawabata wa Nihon bungaku no chōten ni tatsu sakka no hitori to ichizukerarete imasu.
6. Son'na bungakuteki sainō ni megumareta kare desu ga, tatta 2-sai de chichi o, yokunen wa haha o, 7-sai no koro ni sobo, sono san-nen go ni ane o, tsuini wa 15-sai de sofū to shiniwakare, totemo sabishii kateikankyō no naka de sodachi mashita. Kono kyōgū wa, kare no sakuhin ni tadaï na eikyō o oyoboshimasu.
7. Daihyōsaku "Izu no odoriko" wa 80-nen ijō mae ni shippitsu sareta tanpen shōsetsu desu ga, shoseki de tanoshimu no wa mochiron, rokkai mo yakusha o kaete eigaka sareta hodo ninki no aru sakuhin. Sono shujinkō no seinen wa "koji (Kawabata to onaji desu ne)" to iu settei de, Nihon de wa yūmei na kankōchi de aru Izu o tabi shimasu. Dōchū de deatta tabigeinin no ichiza, toriwake karen na odoriko no shōjo to no atatakai kokoro no kōryū o tsūjite, kodoku ga iyasareru to iu sujigaki.
8. Kawabata ga 19-sai no ori ni, jissai ni Izu de taiken shita koto ni chakusō o eta honsaku kara, kare no shōsetsu o yomi susumeru hito mo ōi desu.

CONT'D OVER

9. Tsugitsugi to sakuhin o happyō suru katawara de wakai sakka e no shien mo seiryokuteki ni okonai, ato ni shōkai suru Mishima Yukio o debyū sasete no mo Kawabata desu.
10. Son'na kare desu ga, sōsakuryoku no otoroe ya kenkō e no fuan nado kara gasu jisatsu o toge, ōku no fan ni oshimare mashita.
11. 1899-nen 6-gatsu Ōsaka-fu ni umareru
12. 1972-nen 4-gatsu kyōnen 72-sai
13. daihyōsaku "Izu no odoriko"
14. "yukiguni"
15. "koto"

ENGLISH

1. Yasunari Kawabata
2. The first Japanese person ever to be awarded the Nobel Prize for Literature was Yasunari Kawabata.
3. The defining characteristic of his writing is its beauty. In terms of both his word choice and the sound of his sentences when read aloud, Kawabata is highly revered in a category set apart from other writers.
4. Even more amazing is that, even among the myriad of modern writers so numerous it's impossible to count them all, not just one but several of Kawabata's novels remain as great classics.

CONT'D OVER

5. For these reasons, Kawabata is ranked as one of the writers at the very pinnacle of Japanese literature.
6. Although blessed with such great literary talent, Kawabata grew up in an extremely lonely familial environment. At just two years old he lost his father, followed the next year by his mother, and then at the age of seven his grandmother, followed three years later by his elder sister, and finally, aged fifteen, his grandfather. These circumstances were to greatly affect his writing.
7. His best-known work, "The Dancing Girl of Izu," is a short story that he wrote more than eighty years ago. It is of course enjoyed as a book but is also popular enough to have been made into a film as many as six times, all with different actors. The setup involves the young male protagonist, an orphan (the same as Kawabata, you'll notice) who is traveling through Izu, a famous Japanese tourist destination. The plot follows him as he meets a troupe of traveling performers along his way — in particular a pretty young dancing girl — and how his loneliness is eased by the warm exchange of feeling between them.
8. There are many people who, having read this story, which was inspired by an actual experience Kawabata had in Izu when he was nineteen, go on to read the rest of his works.
9. Even while publishing book after book, Kawabata also tirelessly supported young writers; it was he who helped Yukio Mishima (whom I will introduce later) make his literary debut.
10. However, it was this same man who, due to his failing imagination and concerns about his health (among other factors) took his own life by gas. He was sorely missed by his many fans.
11. June 1899 - Born in Osaka prefecture
12. April 1972 - Died aged seventy-two
13. Best-known works - "The Dancing Girl of Izu," "Snow Country," "The Old Capital"

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
一線を画す	いっせんをかくす	issen o kakusu	to draw a clear line (between), to draw a sharp contrast (between)
傍ら	かたわら	katawara	at the same time, on the side
着想を得る	ちやくそうをえる	chakusō o eru	to get an idea, to be inspired (to do)
筋書き	すじがき	sujigaki	script, plot
可憐	かれん	karen	cute, pretty, lovable
一座	いちざ	ichiza	troupe, company
孤児	こじ	koji	orphan
境遇	きょうぐう	kyōgū	circumstance(s)
遂には	ついには	tsui ni wa	finally
遂げる	とげる	togeru	to meet with (an accident, death etc.), to accomplish

SAMPLE SENTENCES

<p>彼の学校での成績は、一線を画す。 <i>Kare no gakkō de no seiseki wa issen o kakusu.</i></p> <p>His school grades draw a clear line between him and the other students.</p>	<p>妻は、主婦業の傍ら、英会話の講師も務めている。 <i>Tsuma wa shufugyō no katawara eikaiwa no kōshi mo tsutomete iru.</i></p> <p>My wife is a full-time housewife, and also teaches English conversation on the side.</p>
<p>友人の話から新しいビジネスの着想を得た。 <i>Yūjin no hanashi kara atarashii bijinesu no chakusō o eta.</i></p> <p>I got the idea for a new business from what my friend said.</p>	<p>人生は、筋書き通りに進まない。 <i>Jinsei wa sujigaki dōri ni susumanai.</i></p> <p>Life doesn't follow a script.</p>

<p>可憐な少女が描かれている絵を購入した。 <i>Karen na shōjo ga egakarete iru e o kōnyū shita.</i></p> <p>I purchased a painting depicting a pretty girl.</p>	<p>旅先で、サーカスの一座と出会った。 <i>Tabisaki de sākasu no ichiza to deatta.</i></p> <p>I met a circus troupe on my travels.</p>
<p>戦争によって多くの孤児が生まれた。 <i>Sensō ni yotte ōku no koji ga umareta.</i></p> <p>Due to the war, many children were made orphans.</p>	<p>現在、建設会社は不運な境遇におかれている。 <i>Genzai kensetsugaisha wa fūn na kyōgū ni okarete iru.</i></p> <p>Construction companies are currently under adverse circumstances.</p>
<p>その柔道家は、長年の努力の末、遂には、金メダルを獲得した。 <i>Sono jūdōka wa naganen no doryoku no sue tsui ni wa kinmedaru o kakutoku shita.</i></p> <p>After many years of effort, the judo expert finally earned a gold medal.</p>	<p>社長は、不可解な死を遂げた。 <i>Shachō wa fukakai na shi o togeta.</i></p> <p>The company president met with a mysterious death.</p>

GRAMMAR

Natsuko: オーディオブログ第四シーズン第5課 川端康成

Yuichi: こんにちはゆういちです。

Natsuko: なつこです。ゆういちさん、今回は誰について勉強するんですか？

Yuichi: 川端康成です。 **Natsuko:** お、ノーベル文学賞を取ったこともある作家ですね。では、きいてみましょう。

Natsuko: 川端康成が有名な作家だということはもちろん知ってたんですけど、ブログにあるようになんかこう他の作家を寄せ付けなくらいに評価されてる…ということまでは実は知りませんでした。

Yuichi: そうですね。ブログの中では、「他の作家とは一線を画していると高く評価されています。」とか「川端は日本文学の頂点に立つ作家の一人」って、かなりほめられていたね。

Natsuko: 「一線を画している」なんてすごいほめ言葉ですよ。他の作家とははっきりとちがう・・・という意味ですからね。

Yuichi:はい。他の作家と一線を画すような人だからこそ、「ノーベル文学賞」をもらえたんじゃないですかね。

Natsuko:そうですね。

Yuichi:ちなみに、日本人でノーベル文学賞をもらったのは、川端康成の他にもいますよね？

Natsuko:はい、1994年に大江健三郎という作家ももらってます。ノーベル文学賞をとった日本人は今のところこの二人だけです。あの一、村上春樹が取るんじゃないかという噂が最近ありますよね。まだ取ってないので、まだこのふたりだけです。

Yuichi:三人目になって欲しいですね。

Natsuko:ところで祐一さんは川端康成の作品は読んだことありますか？

Yuichi:実は、あのこんなに素晴らしい作家だって言うんですけど、ひとつの作品を通して読んだことがないんですね。ただ、「雪国」という作品があるんですけども、その有名な冒頭部分は覚えています。「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」。

Natsuko:このフレーズは、もしかしたら日本の小説の中で一番有名なフレーズのひとつかも知れませんね。

Yuichi:そうですね。ちなみに、この作品はいろいろな外国語に翻訳されているんですが、英訳したのはアメリカ人のサイデンステッカーさんという人なんです。で、川端康成が、ノーベル文学賞をとったときに、その半分以上がサイデンステッカーさんのおかげだと言っていたそうですよ。

Natsuko:あーなるほど。翻訳のおかげで、国際的評価が高まったと。

Yuichi:なつこさんは、川端康成の作品は読んだことありますか？

Natsuko:実は私も通して読んだことがないんですけども、でも私このサイデンステッカーさんの文章は、実は英語のエッセーを読んだことがあります。日本について書かれた文書で、たしかに、非常にこう分かりやすいきれいな英語だったというふうに覚えているので、きっと翻訳もすごく美しい文章を再現してたんだと思います。

Yuichi:ところで今回のブログに出てきた「伊豆の踊り子」という作品ですが、これは、川端康成が実際に伊豆の温泉旅館に4年半こもって書いたらしいです。

Natsuko:え？四年半も？

Yuichi:そして、さらにビックリするのは、その4年半の期間ですね、ほとんど宿代を払わないまま滞在し続けたんだそうですよ。

Natsuko:え？旅館にお金払わないで、4年半も泊まって小説書いてたんですか？あーあれですね。結構、豪快な人だったんですね。

Yuichi:さすが大物、という感じですね。Wikipediaの方には「細かいことにはこだわらない性格だった」とかありました。

Natsuko:細かいくないと思うんですけどね。4年半ぶんの旅館代って言ったら、すごい額になると思うんですけど。結局、最後に払ったかどうかは気になるんですけどー。

Yuichi:湯本館という旅館に泊まったそうなんですけども、そのオーナーがですね、「宿代は成功してからでいいよ」ということで、お金をほとんど受け取らなかったらしいです。

Natsuko:太っ腹ですね。いわゆる出世払いというやつですね。でも、その旅館は、そのおかげで結構有名になったでしょうね。

Yuichi:ちゃんとそのあと出世しましたからね、川端康成が。

Natsuko:では、今回のレッスンはこの辺までにしましょう。Yuichi:はい、それでは、さようなら。次回のオーディオブログで会いましょう。